

はまYU



U



身近な春(撮影:理学療法士 坂本健一)

Vol.
41
2019.春号

白浜はまゆう病院
開院25周年記念

CONTENTS

- 理念・基本方針
患者・利用者の皆様の権利と義務について … 2
- 開院25周年のご挨拶 ……………… 3
- 新採用医師のご紹介…………… 4
- 各部署から～回復期リハビリテーション
病棟のご紹介～…………… 4～5
- 診察室から～女性診療科のご紹介～… 6～7
- 診療科名の変更について(脳神経内科)… 7
- 療養病棟家族会について…………… 8
- 2018年度院内研究発表大会を
開催しました…………… 8～9
- ケアマネージャーとの交流会…………… 10
- ボランティアの集い
～ボランティア代表よりひとこと～… 10
- 接遇研修会を開催しました…………… 11
- 管理栄養士のおすすめレシピ…………… 11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。

公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般病棟1・
リハビリテーション病院・慢性期病院)機能種別版機能評価項目3rdG:Ver.1.1



敷地内
全 面 禁煙

NO SMOKING

理念

基本方針

私たちちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

1.利用者の権利の尊重

私たちちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にした医療とケアを提供します。

4.利用者とのパートナーシップ

私たちちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

2.地域に開かれた存在

私たちちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

5.事故・災害への対応

私たちちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

3.協力と連携

私たちちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

6.質の維持と改善

私たちちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7.観光地の病院としての対応

私たちちは、観光客の人々が安心して訪れるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あんみんだいふ
んんねいつ
しなてても
んが、もも



患者・利用者の皆様の権利と義務について

1.平等

人種・宗教・社会的地位などのいかんに問わらず、すべての方々は、適切な医療・ケアを受ける権利があります。

2.インフォームドコンセント

病状や医療・サービスの内容については、分かりやすい言葉と方法で、十分な説明を受ける権利があります。

また、医療の内容やサービスの内容について、自らの意思で選択する権利があります。

3.情報開示

自分の診療の記録やサービスの記録の開示を求める権利があります。

4.医療費

医療費の内容について知る権利があります。

5.サービス改善

病院のサービス改善を要求することができます。

6.セカンドオピニオン

自分が受けた検査結果や治療法の説明などに対して、他の医療機関の意見を求め、また医療機関を自ら選択する権利があります。

7.プライバシーの尊重と保護

自分の個人情報やプライバシーについて、尊重・保護される権利があります。

8.利用者の参加

治療やサービス提供に必要な、自分の健康に関する情報を正確に伝え、説明を受けたときには、十分理解できるまで質問するなど、利用者自身も医療やケアに積極的に参加するように努めてください。

9.規則の遵守

他の患者・利用者の治療や職員の業務に支障をきたさないように、病院の規則を守るよう協力をお願いします。

院長挨拶

～開院25周年を迎えて～



白浜はまゆう病院
院長 谷口 友志

平素は白浜はまゆう病院に格別のご指導ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

さて、当院は2019年2月をもって開院25周年を迎えることができました。これもひとえに地域のみなさま方の温かいご理解とご支援のたまものであると心より感謝申し上げます。

1994年2月1日に開院した当時は常勤医師3名、ベッド数は47床でのスタートでした。その後診療科やベッド数も順調に増加、南紀白浜温泉リハビリテーションセンターの開設、南館の建設、電子カルテの導入、新本館の建設など種々の取り組みを経て、現在の姿となっております。



開院からこの半世紀の間に当院を取り巻く環境も大きく変わってまいりました。開院当初、およそ2万5千人であった白浜町の人口は現在2万千人台と約4000人減少し、高齢化率は25%から37%と上昇しています。2025年には白浜町の人口は2万人を下回ると予測されています。このような中、和歌山県の地域医療構想を基に田辺・西牟婁医療圏においても病床数の削減が求められています。ほかにも昨今の医療機関を取り巻く環境は経営状況を含め年々厳しくなってきておりますが、当院では本年は南館改修工事計画もあり、さらに厳しい状況となりそうです。これらを乗り切っていくためには、職員一同の団結と努力が不可欠であり、また、それにかかっていると考えております。

開院25年を迎え、あらためて設立の理念と基本方針に立ち返るとともに、これから先も地域のみなさまが安心して暮らせる地域づくりのためにより一層の努力を重ねてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



新採用医師のご紹介



つじもと としひで
辻本登志英 医師

内科部長

自治医科大学を卒業して紀南地域で勤めた28年前、この地の方々に大切にしていただき、第二の故郷となりました。夫婦のように長く一緒に過ごせばそれだけ深まる愛情もありますが、わずか2年という期間でもふところに迎え入れてくれたこの地域の心の広さは、今思えば母親の愛情にも似た感覚があります。この地での勤務を終え、妻と幼子を連れて、涙を流しながらYS11型機で白浜空港を飛び立った26年前を忘れる事はありませんでした。まだ体力のあるうちにと思いつつ年数が経過しましたが、このたび夢が叶って戻ってくることができました。その頃活躍していた方々の中には、今はもういらっしゃらない方もあるかも知れませんが、世代を受け継いだこの地の皆様に、自分が受けた恩を少しでも返せればという思いで本年1月から仕事をしております。

私はこの20年余り、和歌山市内の救命救急センターで仕事をしてきました。テレビなどでは取り上げることのできない多くのドラマチックな生死をみてきましたが、殺伐とした医療現場にせめて気持ちだけでも紀南地域で教わった心のゆとりを持とうと心がけてきました。白浜はまゆう病院での私の仕事は、これまでとは見た目は大きく違いますが、積み重ねてきた経験は大事にしつつ、自分のできることをできる限り尽くしたいと思っています。それが少しでもこの地の皆様方のお役に立てるなら、これほど嬉しいことはありません。これからどうぞよろしくお願ひいたします。

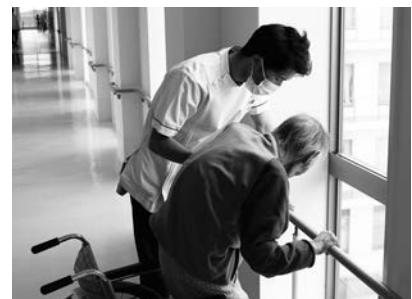
(なお、こちらでいる時に教えてもらった遊び「春はコサメ、夏はアユ、秋はイガミ、冬はグレ」、何度も行ける訳ではありませんが、年中の楽しみがあります。)



今回は、「回復期リハビリテーション病棟」の紹介をしたいと思います。

白良浜が一望できる南館5階にあります。すばらしいロケーションのなか、日々患者さまはリハビリテーションに励まれています。

「回復期リハビリテーション病棟」とは、その言葉のとおり、治療を積極的に行う急性期を脱した回復期にリハビリテーションを行う病棟です。もう少し言うと、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの患者さまに対する食事・更衣・排泄・移動・会話などの日常生活動作（ADL）能力向上を使命とし、寝たきりの防止と家庭復帰を目指す病棟です。また、リハビリテーション専門医をはじめ、看護師・介護福祉士・看護補助者・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカー・管理栄養士・薬剤師・臨床心理士など様々な職種が関わり合う病棟もあります。



しかし、誰でもいつでも入院できるというわけではありません。厚生労働省が疾患などの条件や入院期間を定めています。回復期リハビリテーションの対象となる患者さまは下記のようになります。

回復期リハビリテーションの対象となる患者さま

1. 脳血管疾患、脊髄損傷等の発症又は手術後2ヶ月以内の患者さま
2. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節骨折又は手術後2ヶ月以内の患者さま
3. 外科手術又は肺炎などの治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており手術又は発症後2ヶ月以内の患者さま
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経・筋・靭帯損傷後1ヶ月以内の患者さま



当院では、入院されている患者さまへ365日リハビリテーションを提供し、1日平均のリハビリ時間は2時間以上となります。リハビリ時間以外の病棟生活でも歩行練習や立ち上がり練習を行い、日常生活動作能力の向上に努めています。

また、退院に向けて定期的に多職種が参加するカンファレンスを行っています。カンファレンスで

は、主治医・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカー・管理栄養士・看護師らが参加し、各職種の視点から見た問題点や退院に向けての方針などの情報を共有し、退院という目標に向かってリハビリテーションに取り組んでいます。

寝たきりで入院された患者さまが杖を使って歩けるようになったり、チューブから栄養補給していた患者さまが口から食事が摂れるようになったり、日常生活動作能力が向上し、退院されていく患者さまの姿を見るのが私たちの励みとなっています。



診察室からのお話

～女性診療科のご紹介～



産婦人科医として白浜はまゆう病院にお世話になってから、はや15年がたちました。医療の世界での絶滅危惧科と呼ばれてから、時間もかなり立ってきています。都会では産婦人科医師は微増傾向ですが、地方では相も変わらず産婦人科医師の減少傾向には、歯止めはかかっていません。田辺西牟婁医療圏では開業医の先生方は数軒しかなく、特に分娩が可能な医療機関は2軒しかありません。

白浜はまゆう病院も妊婦検診を含めた対応は外来で実施していますが、妊娠9か月で分娩可能な医療機関か助産所へ紹介を行っているのが現状です。僕も15年前までは年間500件の分娩を扱っている医療機関に勤務していましたが、白浜はまゆう病院では婦人科医師は1名体制ですので、現状は分娩・手術は原則実施ができない状態です。

白浜はまゆう病院での女性診療科(婦人科)としてのスタンスは2つです。



女性診療科
國部 久也

産科関係

妊娠9か月までの妊婦検診、妊娠されている女性の方のマイナートラブルの診察、妊娠されている観光客の皆さんのトラブルへの対応など



婦人科関係

①予防医療の観点から

子宮がん検診(子宮頸部ガン/子宮内膜ガン)

乳がん検診(触診+マンモグラフィ検査・超音波検査)

特に女性に好発のこれらのがんの早期発見・早期治療への誘導を心掛け日々の診療を行っています。

②不妊症診療の観点から

田辺西牟婁地区では体外受精などの診療を行っている医療機関はありません。当院では人工授精までは対応を行っており、人数は少ないですが妊娠に成功した例もあります。

③女性診療科の観点から

当初は婦人科として診療を行っていましたが、なかなか訪れにくい敷居を低くする意味で、院内向けに女性診療科と名称を変更しました。

思春期女性～性成熟期～更年期～老年期までの全ての女性の体の異常を産婦人科医としての視点から診察させていただき、産婦人科疾患だけでなく、高血圧や糖尿病などの内科的な疾患にも取り組んでおります。

また、子宮頸がん撲滅のため、子宮頸がん予防ワクチンの推進にも力を入れています。子宮頸がんワクチンは今でも接種は可能で、一定の年齢までは公費助成があります。しかし世界中で子宮頸がんがワクチン接種の恩恵で、がん減少の傾向の一途をたどっていますが、日本だけは最近子宮がん患者が増加傾向で未だに年間3000人の女性が子宮頸がんで亡くなっている現状を打破するためには、厚生労働省がワクチン接種受診勧奨を再開することを強く望んでいます。

田辺西牟婁地方では、人口の減少と高齢化が一層進んでおり産婦人科としての活動以外にも、病院の地域ケア室室長として地域医療連携のシームレスな環境づくりに向けて、微力ながら日々コツコツと業務をこなしております。

白浜はまゆう病院の女性診療科が今後目指していく方向は、女性の生涯を通して、『よろず相談所』としての機能を発揮できるように銳意努力を重ねていきたいと考えています。

神経内科から脳神経内科に標榜診療科名を変更しました

脳神経内科部長 小口 健

2017年9月の日本神経学会理事会での決定を受け、当院では2019年3月1日より標榜科を「神経内科」から「脳神経内科」に変更いたしました。

この変更により、当診療科が脳や神経の疾患を内科的専門知識と技術をもって診療し、脳神経外科領域の内科的立場に相応する科であること、心療内科や精神科とは別の診療科であること等がより分かりやすくなったかと思います。

今後とも脳神経内科をよろしくお願い申し上げます。

「療養病床入院患者ご家族様との集い」を開催しました

南館3階病棟 師長 名越 幸

2018年12月5日に「療養病床入院患者ご家族様との集い」を開催しました。年末のお忙しい中、16名のご家族の方にご参加いただきました。

事務部より南館の改修工事予定及び南館4階介護療養型医療病床の介護医療院への転換について説明の後、看護部の取り組みとして看護部の理念と目標、教育への取り組みや病棟の日課、レクリエーションについてスライドで紹介しました。

参加されたご家族様から、「いつ来ても髪をきれいに剃ってくれていて、口の中もきれいにしてくれているので本当に嬉しい。」というお言葉をいただきました。私達にとっても日々のケアを行っているなかでとても励みになるご意見でした。

今後も患者様とご家族様に当院で安心して療養生活を送っていただけるよう、看護と介護の質の向上に努めていきたいと思っています。



2018年度院内研究発表大会を開催

2019年2月21日(木)18時30分より和歌山県情報交流センターBig-Uにて院内研究発表大会を開催しました。来賓の方を含め225名に参加いただきました。研究発表に先立ち、勤続10年・20年の永年勤続表彰及び研究業績表彰を行いました。表彰者は次の方々です。



理事長より表彰授与

永年勤続表彰・研究業績表彰 被表彰者氏名

勤続10年

南館5階病棟看護師 桂 佳美
人間ドック・健診センター保健師 桑畠 浩子
放射線科診療放射線技師 久保慎一郎
南館4階病棟介護福祉士 岡崎 旭利
リハビリテーション室理学療法科 副主任理学療法士 平 和晃

本館4階病棟介護福祉士 東 扶美
本館5階病棟看護補助者 大畠 ゆかり
医局内科部長 伊藤 揚荘
西富田クリニック事務員 畑中 千枝
本館5階病棟介護福祉士 山本 静香
医事課事務員 稲毛彩耶香

勤続20年

リハビリテーション室作業療法科科長 北本健太朗
放射線科主任診療放射線技師 磨 保之
南館3階副主任介護福祉士 中田 全紀

南館3階病棟介護福祉士 花尻 雅子
西富田クリニック事務員 森山 典子
地域ケア室主任看護師
主任ケアマネジャー 中 忍

研究業績表彰

リハビリテーション室理学療法科 理学療法士 中山 泰地

研究発表



- 1.数か月の間に日常生活活動が大きく変化した、維持期脊椎腫瘍患者へのチームでの関わり リハビリテーション室 中山 泰地
- 2.ケアミックス病院に勤務する介護職員に対する腰痛予防への取り組み 南館5階病棟 高村 錬次郎
- 3.職員の健康管理 食養科 吉川 貴子
- 4.光熱費の経過と展望 総務課 布袋 仁也
- 5.リウマチ患者と関わる外来看護師の不安 外来 宮路 典子
- 6.Kawazoe Clinical Life Support 医局 竹井 陽

講 演

「患者と医療者のコミュニケーション」

講師 山口 育子 先生
認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長

山口育子先生に、患者と医療者のコミュニケーションについて講演していただきました。患者と医療者が対話と交流の中から互いに気づき合い、歩み寄ることのできる関係を築くにはどのようにしたらいいのか。一言言葉を添えることの大切さなど、患者の目線で日々の業務を振り返り、見直すためのポイントをお話していただきました。



ケアマネジャーとの交流会

地域ケア室では、介護支援専門員や介護施設職員の皆様と顔の見える関係作りとして毎年、交流会を行っています。昨年までは、「医療と介護のスムーズな連携の実現に向けて」というテーマで、病院看護師とケアマネジャーの皆様で意見交換会を行っていましたが、今年度は全国的に猛威を振るった「インフルエンザ」が近隣の施設で流行したこともあり、「施設における感染症対策」というテーマで、2019年3月12日に当院感染対策委員長 木村泰典医師よりご講義いただきました。



ケアマネジャー・施設職員・施設看護師32名の参加があり、感染症の基礎から予防・対策、施設で問題となる多剤耐性菌・感染性腸炎・インフルエンザについて、どのような対策が必要か、総論から各論までとても分かりやすくお話をいただきました。講義終了後には、実際に施設で対応に苦慮した事例などについて、どのような対応が望ましいかなど、質問も多くありました。参加者のアンケートより、「感染症が詳しく学べてよかったです。」「早速業務に取り入れて予防に努めたい」などの意見がありました。利用者さまが安心・安全に療養していただくために必要な「感染症対策」、病院でも施設でも在宅でも重要となるため、大変好評を得ました。

ボランティアの集いを開催しました

白浜はまゆう病院では開院以来、地域の方々によるボランティア活動を受け入れています。院内各所の清掃等に活用させていただくため、布のカットや洗濯など。また、玄関前で当院を利用される方々への声掛けと車椅子への移乗介助、駐車場案内など、様々な場面でボランティアの皆様の活動に支えられています。

2019年3月7日「ボランティアの集い」を開催し、谷口院長より長年にわたる活動への感謝の挨拶がありました。また、病院スタッフと活動に関する意見交換を行いました。



ボランティアの集い 谷口院長挨拶

○開院25周年によせて～ボランティア代表よりひとこと～



「ボランティアの集い」ご参加の皆様

白浜はまゆう病院開院25周年おめでとうございます。1994年2月の開院より、私達はボランティアグループを立ち上げ、病院とともに歩んでこられたこと、感無量です。開院当初は15名のボランティアでスタートして、ベッドメイキング（シーツ交換）が主な活動でした。現在では、本館地階ボランティア室での布カットや入院患者様の洗濯等を、曜日・時間を定めて活動しています。健康に十分留意しながら、可能な限りこの活動を続けたいと思っています。

接遇研修を開催いたしました

総務課 布袋仁也

2019年3月11日(月)、接遇コンサルタントの茨木貴子先生をお招きして職員対象の接遇研修を開催し、84名の職員が参加いたしました。

今回の研修は「心を伝えるコミュニケーション研修」と題して、接遇という言葉の意味、感情をコントロールする方法、上手な伝え方、傾聴術等について大変分かりやすく教えていただきました。中でも感情のコントロールについては、カッとなったら6秒待つようにする、思考の中の「まあ許せる」範囲を拡げるようにする、多様性をむしろ楽しむといった具体的な対処方法をたくさん学ぶことができました。



接遇とは単に相手のリクエストに応えるということではなく、相手を大切に思う心を持ち、同じ感情を共有しながら接することを言うのだそうです。今回の研修を今後の業務に十分活用し、利用者の方に喜んでいただける心のこもった接遇を実践できるよう努力していきたいと思います。

私たちが
おすすめする
**カラダにおいしい
とっておきレシピ** 第33回

～新じゃがいもと新玉葱のチヂミ～

暖かくなり、過ごしやすい季節がやってきました。新じゃがいもと新玉葱を使ったレシピを紹介します。チヂミにじゃがいもを入れることによってもっちり感が増します。

新じゃがいもにはビタミンCが多く含まれており免疫力を高める効果があります。

食養科 管理栄養士
古井 啓詞



材料(2人分)

新じゃがいも	80g
新玉ねぎ	40g
ニラ	40g
人参	30g
ゴマ油	2g
小麦粉a	60g
片栗粉a	40g
鶏ガラスープa	150ml

調味料(2人分)

しょうゆ	15g
酢	20g
砂糖	4g
ゴマ油	2g
ラー油	少々
ごま	少々

栄養価(1人分)	
エネルギー	269kcal
蛋白質	5.3g
脂質	3.4g
塩分	1.2 g
食物繊維	2.6g

作り方

- ①新玉ねぎは半分に切り、薄めのスライスにしておく。
- ②人参は4、5cmくらいのせん切りにする。
- ③ニラは4、5cmくらいに切る。
- ④新じゃがいもはすりおろしておく。

- ⑤①、②、③、④とaを混ぜ合わせる。
- ⑥フライパンにごま油をひき、⑤を焼く。
- ⑦調味料を合わせ混ぜる。
- ⑧⑥と⑦を盛り付けたら完成。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 43-7880(受付) 43-6200(代表)

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(初診)	午前	辻本 登志英	松本 潤	岡 宏保	竹井 陽	伊藤 揚荘	
		午後					高村 竜一郎	
	内科2(再診)	午前	岡 宏保	伊藤 揚荘	松尾 晃次	松尾 晃次	辻本 登志英	
		午後	中村 信男			岡 宏保		
	内科3(再診)	午前		辻本 登志英	中村(第1・3・5)			
		午後		白川(第1・3)	中村信	山崎 幸茂 (診察は内科1使用)		
	内科4(再診)	午前			竹井 陽			
		午後	松本 潤	木下 正博	山下 泰伸	谷口 友志		
	内科5(再診)	午前	荒居 (外科/脳経ヘルニア外来)		谷口 友志	伊藤 揚荘		
		午後	國部(禁煙外来)		谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
外科／消化器外科		午前	片岡 智史	山里 有三	山里 有三	片岡 智史	当番医	
脳神経外科		午前			中村 善也			
		午後			中北(予約)			
整形外科		午前	増田 淳	増田 淳	担当医	増田 淳	岩切 健太郎	
		午前			小池(予約制)			
装具外来		午前		装具外来		装具外来		
小児科		午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	
		午後	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋		
婦人科		午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也		
		午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也		
乳腺外科		午前	粉川 庸三	粉川 庸三		粉川 庸三	粉川 庸三	
皮膚科		午前					県立医大	
		午後		県立医大				
眼科		午後			当番医		当番医	
耳鼻咽喉科		午後			県立医大(第1)予約制		保富(第1・3)予約制	
循環器外来(予約)		午前	岡 宏保		中村(第1・3・5)			
		午後	中村 信男	白川(第1・3)	中村 信男	岡 宏保		
呼吸器外来		午前			松尾 晃次	松尾 晃次		
泌尿器科		午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典	
		午後	川嶋 秀紀		木村 泰典			
泌尿器科(専門外来)		午後		川嶋 秀紀 (泌尿器癌相談外来)			川嶋 秀紀 (神経因性膀胱女性泌尿器科)	
脳神経内科(予約制)		午前	小口 健				中崎 繁明	
		午後		石口 宏	小口 健	安井 昌彰		
通院リハビリテーション外来		午前	谷口 友志	谷口 友志	研修医	研修医	岡 宏保	
		午後	岡／國部	谷口／岡	谷口 友志	國部 久也	岡／松尾	
リウマチ専門外来		午前		小池 達也		小池 達也		
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘		
消化器専門外来		午前	荒居 琢磨		谷口 友志	谷口 友志		
		午後			谷口／山下		谷口 友志	
循環器・高血圧専門外来		午前					担当医(月2回)	

*火曜日午後 内科3診/循環器外来…第1・3(白川岳)

*水・金曜日午後 眼科…予約外は先着5名までとさせていただいております。

2019.4.1～

*土曜日午前 耳鼻咽喉科…第1・3(保富 宗城) 予約制

*診療担当医が変更になることがあります。ご了承下さい。

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
循環器外来(月 第2・4水)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器外来 第1・3・5(水)	8:30～11:00	9:00～11:30	
循環器外来(火)	13:30～16:00	14:00～16:30	
皮膚科(火)	(予約制)	13:30～15:30	
眼科(水)	13:00～15:45	13:30～16:00	
耳鼻咽喉科(木)	13:30～15:30	14:00～16:30	
耳鼻咽喉科 第1・3(土)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	(予約制)	9:00～12:00	
	(予約制)	9:00～12:00	

*診療時間外(夜間・休日)に具合が悪くなったときは、日時に関係なく受付しますので、白浜はまゆう病院へ電話でご連絡ください。



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 [E-mail]info@hamayu-hp.or.jp [URL]http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ツ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3	TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地	TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
■訪 問 看 護 ス テ ー シ ｮ ン た ん ば	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682